

もっと、知りたい。TOKIWAのコト。

学校法人常磐大学 広報誌
TOKIWA POST [トポス]

TOPS

vol.
97

February.2024

特集

常磐大学

創立40周年を迎えて

▶ News & Topics

▶ Toki no Sho / トキノショ

▶ 新校舎紹介

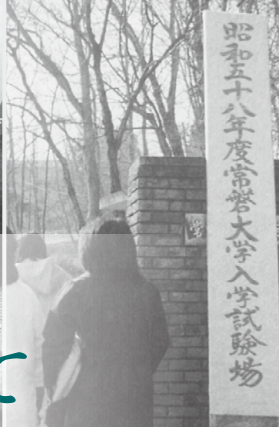
▶ Toki no Michi / トキノミチ

卒業目前インタビュー

▶ Toki no Wa / トキノワ

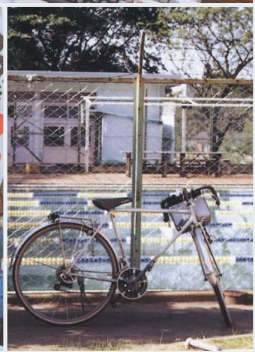
「認定絵本土」をめざして





常磐大学

創立40周年を迎えて



message

常磐大学・常磐短期大学
学長

富田 敬子

常磐大学は1983年4月に開学し、2023年に創立40周年を迎えました。この間、建学の精神「実学を重んじ真摯な態度を身につけた人間を育てる」のもと、「自立・創造・真摯」という教育理念を掲げ、これまで数多くの人材を輩出し、社会へ貢献してきました。

この節目の年に、本学のこれまでの歩みを振り返り、今後の充実・発展に向けた機会とすべく、大学史の編纂、国際シンポジウムの開催など、様々な企画に取り組んでおります。本学は、地域と世界に開かれた大学として、さらなる発展を目指して参ります。

常磐大学 学部学科の推移

常磐大学は1983年に人間科学部を擁して開学し、学部・学科の変更を経て、2017年に総合政策学部、2018年には看護学部を開設しました。

1983 1学部2学科

人間科学部 人間関係学科(社会学専攻/心理学専攻/教育学専攻) / (入学定員200名) コミュニケーション学科



2023 3学部9学科

人間科学部 心理学科/教育学科/現代社会学科 / (入学定員396名) コミュニケーション学科/健康栄養学科

総合政策学部 経営学科/法律行政学科/総合政策学科
(入学定員245名)

看護学部 看護学科
(入学定員80名)

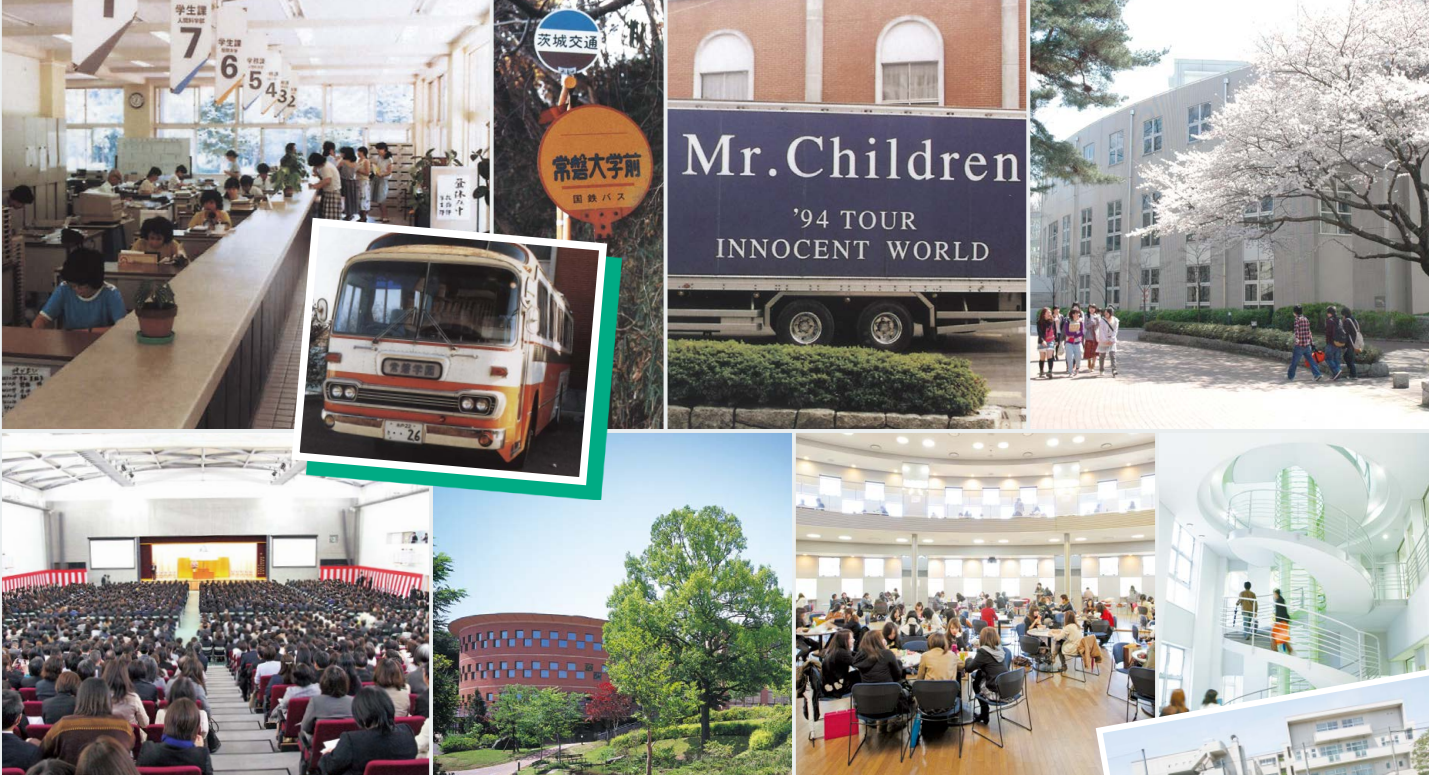
キャンパス航空写真

1987



2022





常磐大学 創立40周年記念事業

国際シンポジウムの開催 2023年9月19日

複合的危機における地域社会の安全・安心 ~これからの地域社会のあり方を考える~

地球規模の様々な課題が複雑に連動する地域社会の状況に目を向けた今回の国際シンポジウム。本シンポジウムで取りまとめられた「大会提言」は、G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合に向けて、警察庁に提出されました。

グローバル共生賞の創設

40年の間に、社会を取り巻く環境が大きな変革を遂げた一方で、日本や世界の各地において、様々な課題もまた浮き彫りとなりました。そこで、常磐大学の建学の精神に即し、国や地域または文化の垣根を越えて、困難な課題にも真摯に向き合い、解決に向け取り組んだ人々を顕彰することを目的に、「常磐大学グローバル共生賞」を創設しました。

記念事業シンポジウムの開催 2023年10月22日

常磐大学の可能性 ~時代の声に答える卒業生たちと在学生をつなぐ~

社会で活躍している本学の卒業生にご来学いただき、在学中の思い出や現在の仕事の内容、在学生への激励などをお話いただきました。講話の後は、「将来の夢」「今、不安なこと」「今、やっておくべきこと」をテーマにセッションを開催しました。

大学史の編纂

「デジタル・アーカイブ」に関する教育研究の成果を活用して大学史の整理および編纂に取り組みます。完成した資料の一部は、本学ウェブサイトおよび学内において公開する予定です。

ロゴデザインの作成

在学生および卒業生を対象に「記念ロゴマーク」デザインの公募を行い、審査の結果、野村 留那さん（人間科学部心理学科2年）の作品が、最優秀賞に選ばれました。



学修環境の整備

新校舎（新B棟）の建築工事

見和キャンパスのほぼ中心部に、新校舎（新B棟）を建築しています。学生がくつろげる共用の学生ホール、大教室、人間科学部健康栄養学科専用の各実験室等が整備されます。

大学

「ときわ祭2023」を開催 コロナ禍以前と同様な「ときわ祭」が復活!

すがすがしい秋晴れのもと、「ときわ祭2023」を10月21日・22日に開催しました。この日を長らく待ち望んだ学生たちは、地域の方々と一緒に秋の一日を楽しみました。今回のメインテーマは「RUN TO TOKIWA～大学生活を生き抜く力がここに～」。ときわ祭にお越しくださった方々、それらを運営する実行委員、参加団体、大学関係者の皆様に「常磐大学が好きだ」「また常磐大学に行きたい」と感じ取ってもらえるように、常磐大学の可能性を大いに発揮し、最後まで走り切ろう(やり切ろう)という思いが込められています。野外ステージでは多彩なエンターテイメントが行われ、来場者はその華やかなパフォーマンスを楽しみ、会場は大きな拍手に包まれました。お笑いライブでは、大盛況の会場で出演者たちのユニークなネタとコミカルな漫才が、

観客を笑いの渦に巻き込みました。野外ブースや屋内企画には、各ゼミナールやサークルなどが参加し、独自のアイデアを盛り込んだ模擬店や展示コーナーを設置。多彩なグルメや手づくりクラフトなどが来場者を楽しませていました。今年のときわ祭は、コロナ禍以前の充実した状態に戻り、学生たちと地域コミュニティが共に楽しむ場として復活。学生たちの団結力と創造力によって、大成功を収めることができました。これからも学生たちの努力と情熱が「ときわ祭」の伝統を守り続けてくれることでしょう。



大学

「学校法人常磐大学&水戸ホーリーホックコラボデー2023」を開催

8月19日、地元Jリーグチーム水戸ホーリーホック対ブラウブリッツ秋田戦において、学校法人常磐大学と水戸ホーリーホックのコラボデーを実施しました。コラボデーは、法人全体の取り組みとして実施が始まってから14年目を迎えます。大学・短期大学・高等学校・中等教育学校・幼稚園の学生・生徒・園児らによる、地域活性化を目的とした、実践的・体験型のスポーツエンターテイメント事業です。総合政策学部経営学科の学生をはじめ、各学校それぞれが参加したイベントを通して、仲間とともに水戸ホーリーホックを応援しながら、実社会に触れる貴重な経験を得ることができました。試合結果は惜しくも引き分けとなりましたが、天候にも恵まれ、地域を大いに盛り上げた一日となりました。

【試合内容】

2023年8月19日(土) ケーズデンキスタジアム水戸
2023年明治安田生命J2リーグ 第31節
水戸ホーリーホック 1 - 1 ブラウブリッツ秋田
入場者数 3,410人



大学

健康栄養学科の学生81人が食育サポーターに任命

健康栄養学科の学生81人が水戸市教育委員会より「水戸市学生食育サポーター」に任命され、6月21日に本学で任命書交付式を行いました。この取り組みは、健康栄養学科の2~4年生(教職課程履修者含む)が、水戸市立の小・中学校からの依頼を受け、食育活動の支援員として児童・生徒および保護者に対して食育に係わる情報の提供や活動の補助等を行っていきます。主に、家庭科授業の調理実習補助や給食時間の学級における食育支援活動補助等において活動していきます。任命書の交付は、代表として3年生の箱田恭子さんが、学科長の住吉克彦教授から任命書を受け取りました。箱田さんは、「これまでの活動では、児童の調理実習の補助や、給食時間の献立の説明を行った。食材の切り方の説明では、うまく伝わらず、大変だった。し

かし、実物などを利用して工夫することで、料理が完成して児童が喜ぶ姿を見るのは、とても嬉しく、次の活動の活力になった。

今年も、わかりやすく話す工夫を心がけて、活動に取り組みたい。そういった力をしっかり身に付けて、将来は、世代にかかわらず力になれる管理栄養士になりたい」と将来の目標も踏まえながら意気込みを語ってくれました。



学び、体験し、日々成長している学生・生徒・園児たち。
そんな彼らの活躍の場は、校内にとどまらずさらなる広がりを見せています。
ここでは各学校の主な活動や取り組み、実績などをご紹介します。

大学

15人の交換留学生をお迎え

本年度秋 Semester に本学で学ぶ交換留学生15人が9月中旬に来日し、国際交流会館で本学学生との共同生活をしています。今回受け入れたのは、カリフォルニア州立大学フレズノ校(アメリカ)から5人、ランガラ・カレッジ(カナダ)から1人、グダニスク大学(ポーランド)から3人、チェンマイ・ラチャバット大学(タイ)から3人、国立中正大学(台湾)から1人、モンゴル文化教育大学(モンゴル)から2人です。モンゴル文化教育大学およびグダニスク大学からの受入は、協定締結後初となります。大学で日本語を学んできた学生も多く、授業のみならず、日常生活で日本語を使うことに全員が積極的で、さらなる日本語力の向上に期待が高まります。9月15日は、国際交流会館で歓迎会があり、ウクライナ避難民学生ルニンさんも含め、日本人学生との距離がぐんと縮まりま

した。10月12日には、日本語教育を担当する飯野令子教授の同行で、富田敬子学長と面会しました。日本へ、そして常磐大学へ留学しようと思ったきっかけや、将来の夢について語ってくれました。10月に入って「留学生バディ」との交流や、本学学生、常磐大学高校生との英会話交流 English Connections (EC) が始動しました。国際交流語学学習センターでは、様々な機会を通して留学生と交流を深めていただくことを願っています。



高校

笠間探究

2年生特進コース(文系)の約170人が探究Ⅱの授業の一環で、笠間市のフィールドワークを行いました。かさま歴史交流館井筒屋、笠間稲荷神社・門前通り、道の駅かさま、芸術の森公園を訪れ、地域ならではの魅力を体感しました。生徒の多くにとっては初めての場所でしたが、笠間市の方から頂いたパンフレットを参考にしながら、それぞれが「現地での新しい発見」「笠間市への提案」「提案のメリット・デメリット」などを考え、ワークシートに記入しながら観光スポットを見学しました。2月末の笠間市長への提言に向けて、今後も学びを深めていきたいです。



高校

芸術鑑賞会

ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールにて、芸術鑑賞会が開催されました。本年度は StarLights 様をお招きし、ゴスペルを鑑賞しました。ゴスペルの定番曲から J-Pop、本校の校歌まで聴かせていただき、また本校生徒もステージに登り一緒に歌わせていただき、会場にいた全員で心地よい時間を共有することができました。



高校

国際教育

本年度は、カナダ、アメリカ公立高校留学とカナダ3か月語学留学に加え、新たにカンボジア研修が始まり、中止していたカナダ10日間サマーキャンプが再開し、本来本校で行っている海外研修を全て実施することができました。海外研修だけでなく、オランダからの留学生の受け入れ、常磐大学留学生とのイングリッシュコネクション等、本校の国際化は着実に進んでいます。カナダ、アメリカ公立高校留学プログラムに参加中の生徒は、来年夏まで留学が続きます。



高校

服のチカラプロジェクト

SDGsの『誰一人取り残さない』という目標を達成するため、JRC部・社会部・有志生徒で子ども服の回収に取り組みました。7月の三者面談で、多くの子ども服が集まりました。夏季休業終了後にも多くの方々に子ども服を学校に届けていただきました。10月16日には、生徒たちで夏服・冬服・ベビー用など子ども服の分類作業を行い、段ボール箱に梱包しました。その後、本校で回収した子ども服(18箱)を、ユニクロ・GUの事務局に向けて発送しました。この服は、難民の子どもたちに届けられます。



智学館

智学館フェスティバル

残暑厳しき9月15日、16日の両日にわたり、智学館フェスティバル2023を開催しました。コロナ禍以来4年ぶりとなる一般公開では、生徒たちが制約のない自由な発想で多くのお客様をもてなし、模擬店・展示・舞台発表で生き生きとした姿を見せていました。今回は保護者ボランティアのカフェ・バザーに加え、卒業生による模擬店や企画も実施され、まさに智学館ファミリーを体現する思い出深い行事となりました。



智学館

Walking Day

11月11日、秋晴れの下 Walking Day を実施しました。大洗駅を出発し、大串貝塚ふれあい公園で昼食の後、千波湖を経由して学校に戻るコースです。2年次から5年次までを縦割りにした班の中で、昨年度の苦労を思い出しながら互いに声をかけ合い、リーダーシップとフォロワーシップを育みながら、学校までたどり着くことができました。足の痛みをこらえながら完歩した23キロは、生徒たちにとって大きな自信となりました。



智学館

交通安全教室

11月22日、(株) HELMのレーシング・ドライバー平木湧也さん(2期生)、玲次さん(3期生)を招き、交通安全教室を実施しました。自転車のヘルメット着用の大切さを力説するとともに、「熱中できること、好きなことなら必ずやり遂げられる」という熱いメッセージを語ってくださいました。校庭に会場を移した第2部では、サーキット仕様の日産GTRの迫力ある走りやメカニックスタッフによるタイヤ交換の神業に目を見張りました。



幼稚園

パイプオルガン鑑賞会

水戸芸術館で行われた“パイプオルガン見学会”に年長組の子どもたちが参加しました。エントランスホールにあるパイプオルガンは“3,283本”で、日本人が作ったパイプオルガンの中では最大級の規模だそうです。子どもたちは、天井まで届くパイプに目を輝かせ、きれいな音色に耳を傾けていました。パイプオルガンの仕組みを丁寧に教えてもらったり、パイプが集まった部屋を特別に見せてもらったり! 最後には、実際に弾かせてもらって、パイプオルガンへの興味が更に深まりました。



幼稚園

常磐小学校との交流会

11月16日、水戸市立常磐小学校の1年生に“秋まつり”に招待してもらい、交流をしてきました。生活科の授業で、秋の自然物を使ったおもちゃ作りを行い、たくさんのコーナーを準備して待っていてくれました! 当日は、お兄さん・お姉さんにリードしてもらいながらコーナーを回り、ゲームをしたりお土産をもらったりしました。一緒に活動している姿は、これから待っている小学校生活に期待を膨らませているようでした。



幼稚園

職場体験活動

11月21日・22日、2日間にわたって、水戸市立第一中学校の2年生5人が職場体験活動に来てくれました。幼稚園児との遊びや活動に触れ、園生活の流れを知ったり、幼稚園教諭としての仕事の一日を観察し体験したりしました。好きな遊びの時間には、少しぎこちなかった表情も笑顔に変わり、園児と楽しそうに関わる様子が見られました。体験を通して、色々な気付きも教員と共有することができ、お互いに学びのある2日間でした。幼稚園での経験が、将来の職業選択に役立ってくれたら幸いです。



大学・短期大学の教員が執筆した様々な分野の著書をご紹介します。

公認心理師の基礎と実践⑩〔第19巻〕
司法・犯罪心理学 第2版

人間科学部 教授
寺村 堅志

野島一彦
繁樹算男(監)
岡本吉生(編)
2023年9月
遠見書房



近年の刑法・少年法等の大きな法改正に伴う制度・実務の変更点などを踏まえ、改訂された入門書です。第3章「犯罪・非行の心理アセスメント」の執筆・改訂を担当しました。

実習指導者・教員のための
地域・在宅看護実習指導ガイドブック

看護学部 教授
角田 直枝
看護学部 専任講師
田村 麻里子

一般社団法人
全国訪問
看護事業協会(監)
尾崎章子(編)
2023年9月
中央法規出版



地域・在宅看護実習の指導者に向けて、指導体制や実施・評価などを考え方から実践例まで紹介しています。第6章実習の評価を、田村と角田が分担して執筆しました。

発達
通巻第174号

常磐大学 助教
海老名 悠希

上垣内伸子
山岸利次 他
2023年5月
ミネルヴァ書房



「子どもの権利条約」の批准30周年を迎えるに際し、3.11後の福島で実践された幼稚園教諭と心理師によるアドボカシー(権利擁護)のための協働事例を報告しています。



常磐大学
40周年
記念事業

新校舎紹介 新B棟の建築工事(2024年4月使用開始予定)
— 学修環境の充実と新たな交流の創出を目指して —



見和キャンパスのほぼ中心部に建築中の新校舎(新B棟)には、1階に学生の皆さんがくつろぎながらミーティングをすることも可能な共用スペース(学生ホール)と大教室が2室、2階・3階には人間科学部健康栄養学科専用の各実験室・実習室・講義室が整備されます。

建築工事概要 構造: 鉄筋コンクリート造3階建 建築面積: 1,357.20㎡ 延べ床面積: 3,893.89㎡



おおしま りょうすけ

大嶋 亮祐

大学

常磐大学

総合政策学部 法律行政学科 4年

進路 福島県警察本部



地域の笑顔を守る警察官に

頼もしく強い芯を持った警察官になりたい

中学時代の交通安全教室に来ていた警察官の毅然とした姿勢に感銘を受けたことがきっかけで、警察官を目指すようになりました。大学1年生の頃から教養試験対策に力を入れ、他にも論文力・体力・面接・集団討論等、多くの試験対策を満遍なく行う必要があり、日々試験対策に追われていました。しかし、早くからの取り組みが功を奏し、余裕をもって試験に臨むことができました。常磐大学は、特色として社会安全に関する分野が充実しており、少年法・警

察法・犯罪学・被害者学といった学問を学べるのが強みです。法律行政学科では、警察学校入学前から法律を学び、深い知識を身に付けることができました。改めて振り返ると、大学を通して物事への学ぶ姿勢が身に付いたと感じています。警察官になってからもこの「学ぶ」ことを忘れず、県民のために力を発揮し、地域の笑顔を守り続けることを目標に、一人の人として模範となる存在でありたいと思います。



トキノミチ

卒業目前

明るく元気に笑顔で！



ほそがい ななみ

細貝 七海

短大

常磐短期大学

幼児教育保育学科 2年

進路 社会福祉法人若葉会 石川保育園

目標は子どもたちが楽しめる保育を行うこと



短期大学は2年間という期間で学ぶ必要があります。入学当初の私は、保育についてきちんと学びきれぬかという不安がありました。実際の保育現場や施設等での実習で、現役保育士の方々が子どもたちと関わる姿を見て学ぶことができ、授業では、先生方から保育現場で役立つ実践的な知識を分かりやすく丁寧に教えていただいたので、就職後もすぐに活かせる自信を身に付けることができました。苦手だったピアノも、アレンジの仕方、演

奏のコツや表現方法等を学べたので、子どもたちと楽しく音楽活動ができそうです。私が目指す保育者像は、明るく元気な笑顔で、一人ひとりの子どもたちをよく観察し、その様子を保護者にしっかりと伝えられるようになること。そして何より子どもたちが園での生活を楽しんでいると感じてくれる保育を行っていくことです。働き始めたら、保護者の方々とも積極的に関わり、いつか「この先生でよかった」と感じてもらえるように努力していきたいです。

いしかわ はると
石川 陽人

高校

常磐大学高等学校 3年

進路 筑波大学 人文・文化学群
比較文化学類



価値観を変えた
留学経験

異文化交流でもっと 視野を広げていきたい

中学時代、茨城県サッカー協会主催の夢プロジェクト欧州遠征で行ったオランダやイタリアで、異文化に触れる機会を得ました。その後は留学支援が充実している本校に進学し、2年生の8月から10カ月間カナダのバンクーバーに留学。そこでは、より貴重な経験と新しい価値観を得て、進路を決めるきっかけになりました。カナダでは、家族の絆の深さや個人の容姿を必要以上に気にしない考え方など、日本人とは異なる価値観に触れることができた一方で、ア

ジア人差別にも遭遇しました。以前から持っていた世界に視野を広げたい気持ちがさらに強くなり、比較文化という分野を選択しました。進学後は、さらに異文化交流に積極的に取り組みたいと考えています。この3年間は、留学・勉強・部活動(サッカー部)と大変充実した日々でした。時間管理を徹底して、その時その時に集中することで両立することができたのだと思います。今後は、「英語」に携わり様々な文化や価値観を発信できる人を目指します。



インタビュー

就職や進学が決まった皆さんに直撃レポート
意思をもって常磐に入学してきた多くの学生生徒たち。卒業前に一足早く就職や進学が決まった皆さんに今後の展望を語ってもらいました。

父の姿は憧れ、
そして目標



かわまた まりあ
川亦 真理愛

智学館

智学館中等教育学校 6年次

進路 茨城大学
人文社会科学部 現代社会学科

茨城の魅力を 世界へ発信する



茨城県職員として県の魅力を意欲的に発信する父は、尊敬し目標にしている存在です。将来は父と同じ県職員となり、広報室や地域物産室などで、県産品の魅力や食文化を、国内外の多くの人たちへ伝えたいと考えています。そこで、地域志向教育プログラムが充実している茨城大学への進学を決めました。進学後は「地域社会におけるまちおこし」を研究テーマに、フィールドワークに力を入れ、地域支援プロジェクトにも積極的に参加した

と考えています。私にとって、智学館での6年間はとても有益なものでした。コミュニケーションをとることが苦手だった私が、文化祭など年次の垣根を越えた行事やクラスでの活動を通して、様々な人とのコミュニケーションをとることが好きになりました。また「英語表現」の授業では、ネイティブの先生から実践的な英語を学べました。海外発信に際して外国語は必須です。大学では英語以外の言語も学び、様々な経験を積みたいです。



講義【絵本と出会う～書店での出会い～】
 (株)ブックエース川又書店エクセル店
 店長 阿部大輔 さん

赤ちゃんから高齢者まで
 楽しめるメディア“絵本”

本講義は外部講師の方をお招きして行う後期日程のうち「絵本と出会う」シリーズその④です。講師は水戸駅ビル内にある川又書店エクセル店の阿部さん（常磐大学国際学部卒業）にご教示いただきました。今回お話しいただいたテーマは、店舗ならではの視点「書店の絵本の売り場づくりについて」です。

『皆さんは書店で多くの書籍が並ぶ中からどのように本を選びますか。ふと目に留まった書籍には、きっと注意をひくポップがあるのではないのでしょうか。本の帯、店内掲示ポスターやリーフレット等々、実はその中で人気なのが、本に関する感想やコメント等を手書きで描いたポップです。

ここで陳列の話をします。陳列は高さでボリューム感を出せる「平積み」、雑誌などトレンド商品を魅せる「面陳列」、訴求力は落ちるも数量を置ける「背差し」、



面陳列と平積みを組み合わせてアピール力をアップする「多面陳列」があります。また人が立った状態で視線に入りやすい高さをゴールデンラインと呼び、この位置に書籍を陳列すると「店のイチオン感」が強くなります。絵本にも、



学生が制作したポップを展示（川又書店エクセル店）

Toki no Wa
 トキノワ

「認定絵本土」 をめざして

常磐短期大学 幼児教育保育学科にて
 「認定絵本土」養成講座が
 2023年度より受講可能になりました。



講義を—

同様の陳列が適用されますが、探しやすさを加味すると「出版社別」「年齢別」「ジャンル別」「推し作家別」というくくりで陳列されることが多いです。絵本は赤ちゃんから高齢者まで楽しめる素晴らしいメディア。多くの人々に愛されてやまない存在です。今回は皆さんに好きな絵本に添えるポップを制作していただきます。「あじ」のあるポップで絵本をアピールしてみましょう!」

What?

「認定絵本士」とは

国立青少年教育振興機構を事務局とする絵本専門士委員会が認定する資格です。絵本についての幅広く深い「知識」、読み聞かせや絵本検索と紹介、おはなし会を開く等の「技能」、絵本の世界を豊かに伝える「感性」が必要とされます。有資格者は、絵本の楽しさや大切さを世に広めることができ、保育・教育施設、子育て支援センター等で、資格を活かした活躍が期待されています。

絵本の魅力を子どもたちに伝える、
豊かな知性・技能・感性をもった
保育者を目指します！



講義

【絵本が生まれる現場
～作家の感性に触れる～】

絵本作家 小林由季 さん

母と二人で過ごす
絵本を読む時間が私の原風景



絵本作家・編集者・図書館員・書店員などの
講義も受講できる充実したカリキュラム

部ご紹介

本講義は外部講師の方をお招きして行う前期日程のうち「絵本が生まれる現場」シリーズその①です。講師は、絵本作家の小林由季さんにご教示いただきました。今回お話しいただいたテーマは、絵本作家の視点での、「絵本の見え方と作り方について」です。

『絵本完成までには多くの人々が関わります。私のような作家にもストーリーを作る人・絵を描く人・両方できる人がいます。そして言葉の言い回し等をチェックする編集・本の体裁やレイアウトを作るデザイナー・印刷所・配送・書店での販売…とここまで来てやっと絵本が完成するのです。』

私が大学生の時、東日本大震災で混沌とした世界を目の当たりにし、自分も

人も幸せな気持ちになれる絵本作品を世に届けたいと思うようになりました。私の原風景は、絵本を読みながら母と二人で過ごした時間。私が絵本を作るとき、この幼少期に培われた感性・記憶・好きなもの等に、その後の経験や新しい記憶等からストーリーを作っていきます。視覚表現（絵やイラスト）と言語表現（文）で、絵本の見え方はガ

ラリと変わりますから、作家はこの絵本を通して何を伝えるかに悩み、迷い、考えながら絵本づくりを行うのです。絵本は特に子どもたちに、楽しさ・美しさ・不思議さ・探求心・発見等色々な感動を与えてくれます。皆さんもきっと発見があるはず。ぜひ今からでも、たくさんの絵本を読み返してみてください』



▶ 常磐の魅力がYouTubeでご覧いただけます。トポスメイキング動画「TOPOS MOVIE」を配信中!



認定絵本士をめざして
(短期大学)



卒業目前インタビュー1
(大学・短期大学)



卒業目前インタビュー2
(高校・智学館)



寄付者ご芳名 (敬称略・五十音順) ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。[2023年7月~12月受付分]

諸澤幸雄奨学金制度への募金

学校法人内の各学校に在籍する学生・生徒で、経済的理由により学業の継続が困難な者に対して奨学金を給付し公平な修学機会を与え、もって有為な人材の育成に資することを目的とした給付型奨学金制度です。

法人	
100,000円	一誠商事 株式会社
500,000円	株式会社 西山工務店
個人	
120,000円	齋藤 泰嘉*
50,000円	横須賀 敬章*
芳名のみ公表	智学館10期卒業生一同
	石田 脩平*
	江原 麻子*
	小宅 祐輔*
	関 いづみ*
	渡辺 凧沙*

常磐大学高等学校 創立100周年募金

常磐大学高等学校の教育活動ならびに学習支援をさらに拡充させ、生徒の伸びやかな成長を図るための環境整備事業推進募金です。

個人	
60,000円	大槻 行徳*
50,000円	横須賀 敬章
芳名のみ公表	井上 圭子
	岩間 健一郎*
	内田 和毅*
	川崎 秀典*
	根本 知計
	橋本 直
	横山 正和*

●複数回お申し込みくださいました方は、芳名に*を付しました。

園児・生徒・学生に対する教育支援

個人	
芳名のみ公表	橋本 直

地域社会との連携事業に対する支援

個人	
芳名のみ公表	村中 均

その他の寄付

団体	
芳名のみ公表	常磐栄養士会

税制上の優遇措置

寄付募集について、文部科学省から特定公益増進法人の証明書交付を受けております。本学にご寄付いただきました場合は、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄付募集の詳細については、ホームページでご覧いただけます。

<https://www.tokiwa.ac.jp/fund/>

寄付金のお申し込みおよびお問い合わせ

学校法人常磐大学 会計経理課 寄付係

[お電話で] 029-232-2551 [メールで] kifu@tokiwa.ac.jp

TOPOS

vol.97
February 2024

学校法人常磐大学 広報誌【トポス】 2024年2月発行

学校法人常磐大学 総務課広報係

〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1 TEL.029-232-2511 (代)

お寄せいただいた方の中から、抽選で20名様に常磐大学オリジナルグッズを差し上げます。



皆様からの
ご意見大募集!

①印象に残った記事とその理由など ②今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど

皆様からのご意見・ご感想をメールまたははがきでお寄せください。

※名前、住所、本学との関係(在籍者の場合、所属する学校名)も併せてご記載ください。

[メール送信先] kikaku@tokiwa.ac.jp

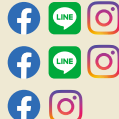
[はがき郵送先] 〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1 学校法人常磐大学 総務課広報係

TOKIWA <https://www.tokiwa.ac.jp/>

常磐大学大学院
常磐大学
常磐短期大学



常磐大学高等学校
智学館中等教育学校
常磐大学幼稚園



常磐大学は平成28年度大学評価の結果、(公財)大学基準協会の大学基準に適合していると認定されました。



常磐短期大学は令和2年度(一財)大学・短期大学基準協会による認証評価の結果、適格と認定されました。